

# 社会福祉士実践の基礎を学ぶ



■ ■ 履修期間は1年・レポート&集合研修 ■ ■

## 【開催要項】

### ○ 基礎研修Ⅰとは

2012年度より、日本社会福祉士会の生涯研修制度が変わりました。この基礎研修Ⅰは、社会福祉士として必要な基礎知識を3年間（最大6年間）かけて行なっていく「基礎研修」の入り口の研修です。

その後の専門研修の受講や認定社会福祉士資格を取得するためには、欠かせない研修です。

1年目の基礎研修Ⅰは、会の歴史や本研修制度、倫理綱領や共通基盤となる知識や技術等について、自己学習・レポート・集合研修という形を通じて、地域の仲間とともに学ぶ研修です。

基礎研修Ⅰを修了後、基礎研修Ⅱ、基礎研修Ⅲ、スーパービジョン、と生涯研修の課程に進みます。

### ○ 目的 基礎研修Ⅰの到達点は以下の通りです。

- 1 専門職が職能団体を持つ意義を知る
- 2 日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の組織と役割を知る
- 3 生涯研修制度を知る
- 4 社会福祉士共通基盤を知る
- 5 実践現場における社会福祉士の専門性をふまえた役割を知る
- 6 実践を踏まえて社会福祉士が倫理綱領や行動規範を持つ意味を知る

○ 主催 公益社団法人 北海道社会福祉士会（担当 生涯研修委員会）

○ 共催 公益社団法人 北海道社会福祉士会  
道央地区支部・道南地区支部・道北地区支部・日胆地区支部  
十勝地区支部・釧根地区支部・オホーツク地区支部

### ○ 研修スケジュール（全体の流れ）

| 内 容                  | 日 程  |
|----------------------|--|
| 受講申込締切り              | 2017年9月8日(金)   |
| 事前課題提出締切り            | 2017年9月20日(水)  |
| 第1回集合研修<br>(10時～17時) | ①旭川・苫小牧会場<br>2017年10月14日(土)<br>②札幌会場<br>2017年10月15日(日)<br>③函館・北見・帯広・釧路会場<br>2017年10月21日(土) |
| 中間課題提出締切り            | 2018年1月15日(月)  |
| 第2回集合研修<br>(10時～17時) | ①旭川・苫小牧・帯広・北見会場<br>2018年2月17日(土)<br>②札幌・函館・釧路会場<br>2018年2月24日(土)                           |

## 研 修 内 容

### 1 事前課題（テーマ 社会福祉士の役割を考える）

| 研 修 方 法 |  | 字 数    |
|---------|--|--------|
| 課題①     | 『生涯研修手帳』を読み社会福祉士としての専門性について考えをまとめ、生涯研修制度を通じてどのように研鑽を進めるかをまとめる    | 1200 字 |
| 課題②     | 「社会福祉士の倫理綱領・行動規範」を声に出して一度読む。倫理綱領・行動規範をふまえて、社会福祉士として大切にしたいことをまとめる | 800 字  |

- ・事前課題の提出をもって集合研修 1 の受講を認める。  
（課題未提出の方は集合研修 I の受講はできない）

### 2 第 1 回集合研修

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会福祉士のあゆみ」</li> <li>・「日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の組織」</li> <li>・「生涯研修制度」</li> <li>・「社会福祉士としての専門性について考える」</li> </ul> |
|--|

### 3 中間課題

| 課 題 内 容 |   | 字 数                                |
|---------|---|------------------------------------|
| 課題①     | あなたの日頃の実践を振り返り、「社会福祉士行動規範」と照らし合わせ、2 つの項目を取り上げ、あなたの実践を「社会福祉士行動規範」1 項目につき 1,200 字程度で考察してください。   | 1 項目 1200 字<br>合計 2400 字           |
| 課題②     | 『基礎研修テキスト』上巻のP1～P25「社会福祉士に共通する専門性の理解」を読んで、なぜ社会福祉士にとって共通基盤が必要なのか、あなたの日頃の実践を振り返りながら 1,200 字程度にまとめてください。   | 1200 字                             |
| 課題③     | 所属組織におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を職場で活躍している先輩社会福祉士から話を聞いて現状を踏まえて考察してください。そのうえで、自らの現状と課題及び組織における現状と課題について、1200 字程度にまとめてください。                                 | 1200 字                             |
| 課題④     | 他領域におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を、所属組織以外の施設や事業所（独立型社会福祉士事務所を含む）で活躍している先輩社会福祉士から話を聞き、所属組織以外の社会福祉士が抱えるソーシャルワーカーとしての現状と課題について考察しそれぞれ 1200 字程度でまとめてください（2 箇所以上） | 1 領域 1200 字<br>× 2 領域<br>合計 2400 字 |

#### ※留意点

- ・「課題③」で組織に所属していない、または所属組織に社会福祉士がいない場合は課題⑥として「他領域の SW 実践について学ぶ」の課題を 3 本とする
- ・中間課題の提出をもって集合研修 2 の受講を認める  
（中間課題未提出の方は集合研修 2 の受講はできない）

### 4 第 2 回集合研修

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会福祉士に共通する専門性の理解」</li> <li>・「倫理綱領・行動規範の理解」</li> <li>・「社会福祉士の倫理綱領の実践適用」</li> </ul> |
|--|

○ 事前課題提出方法

- ・原則2部印刷の上、事務局に郵送。 ※受講番号・氏名を忘れず記入。

○ 会場

- ・各会場名等は受講通知書でお知らせします。

○ 修了基準

- ・すべての科目を受講することで修了とする。
- ・15分以上の遅刻・早退・欠席は認めない。
- ・遅刻・早退・欠席した科目は、次回開催時に受講することで修了とする。

○ 研修時にご持参いただくもの

- 筆記用具、テキスト、ワークブック、受講者証

○ 「配慮の必要な方」は受講の事前にお申し出をお願いします

○ 受講対象者・資格

全ての社会福祉士（会員・非会員）

※入会手続き中の場合は会員扱い

①2012年4月以降に入会された会員

②旧生涯研修制度で共通研修課程修了申請をしていない会員

③もう一度基礎から勉強したい会員

④その他の社会福祉士

○ 受講費用（全会場共通）

（基礎研修Iワークブック代込）

- ・2016年度、2017年度入会会員 4,000円
- ・既入会会員 6,000円
- ・非会員 15,000円

+

- ・テキスト上巻 1,950円

※基礎研修I～IIIを修了すると  
認定社会福祉士の申請に必要な  
30単位中10単位を取得！

【内訳】権利擁護・法学系、地域開  
発・政策系、サービス管理・経営  
系、実践評価・実践研究系、人材育  
成系・ソーシャルワーク理論系科目  
の単位となります

○ 参加申込要領

- ・受講申込書に必要事項をご記入の上、郵送・FAXにてお送り下さい。

※事前課題送付前に、受講申込書をお送りください。

- ・受講費+テキスト代を所定の口座までお振込下さい。

※受講申込と受講費の支払いが必要です。必要要件を満たした方に受講決定通知書を送付します。

○ お申込先・支払いについて

- ・ 公益社団法人 北海道社会福祉士会  
住所 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 4階  
電話 011-213-1313/FAX 011-213-1314

- ・ 受講料は前払いとなります
- ・ 一度振り込まれた受講料は原則返金致しません
- ・ 振込手数料は各自ご負担下さい
- ・ 振込用紙は郵便局に備え付けの「青色 振込取扱票」をご使用下さい
- ・ 振込先 郵便口座番号 02720-3-64711  
名 義 公益社団法人 北海道社会福祉士会

※通信欄に「基礎研修I」とお書き下さい

